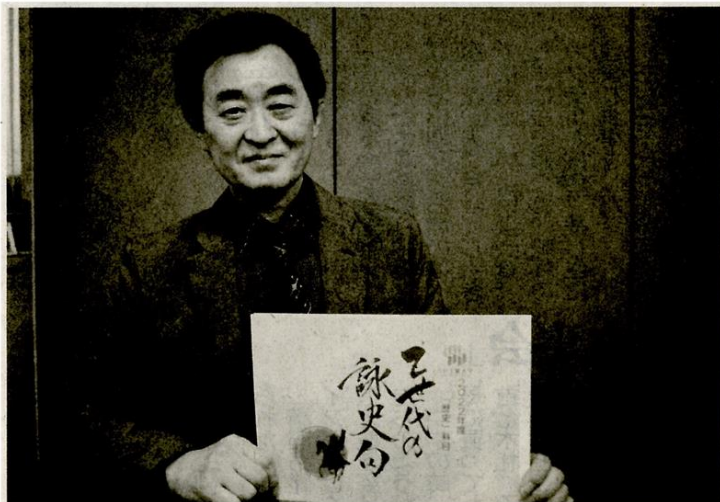


デーリー東北
2023年(令和5年)5月1日(月曜日) (8)

文化 culture

学生の感性光る作品紹介

八工大の
滝尻さん 『Z世代の詠史句』発行



八戸工業大で「歴史」の講義を受講する学生らの川柳をまとめた句集『Z世代の詠史句』が、このほど発行された。詠史句とは、歴史上の事柄を題材にした川柳のこと。本書は旧石器時代から昭和までの15章構成で、各章で秀逸句を紹介。学生のみずみずしい感性が光る、ユニークな作品159句を堪能できる。昨年度から講義を担当

学生は、八戸を含めた東北で起こった出来事を通して中央の歴史を読み解くことをテーマに展開した。学生は毎回の授業の終わりに、印象に残った出来事を題材に作った出来事を題材に作句。滝尻さんは各回特に優れた10句程度を選び、次の授業の冒頭で講評してきた。

本書にはそのえりすぐりの作品を収録。「掌を合わせ幸せ祈る 躊躇土 偶」「師行の歴史を紡ぐ 根城祭」「うっかりで出 来た八戸2万石」といった

句集は大学と八戸市の図書館で貸し出されているほか、はちのへ川柳社で無料で頒布している。希望者は滝尻さんへ電話0178(23)34322へ。(小泉仁美)

する、同大非常勤講師の滝尻善英さんが企画。滝尻さんは「はちのへ川柳社」の会長を務めており、「学生たちが川柳に親しめる場をつくりたい」と、授業に詠史句を取り入れた。

た八戸ゆかりのテーマを詠んだ句から、「義経が漕ぎ手射殺す 壇ノ浦」忠敬の地図はグーグルより勝る」など中央で起こった出来事や時代を象徴する文化を題材にした作品まで、多彩な句が並ぶ。学生からは「川柳に触れる機会がなかったのでも新鮮だった」「作句することで授業の確認ができた」といった感想が寄せられ、文芸や歴史への関心を深めるきっかけとなったようだ。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。